

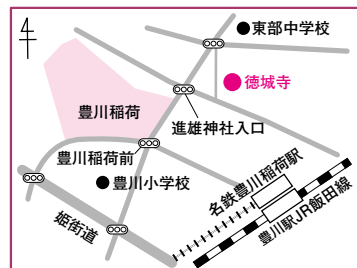


豊川市の観光資源を紹介します。問合せ先 ● 市観光協会 89-2206

みつけた!



今も絶えることなく水をたたえる「錫杖井戸」



豊川西町の徳城寺の境内には、大きなケヤキの木が数本生い茂り、そこにひっそりと小さなお堂が建っています。お堂の中には、深さ1mほどの井戸があり、静かに水をたたえています。この井戸にまつわる昔話があるのをご存知でしょうか。

その昔、弘法大師（空海）が旅の途中で徳城寺に立ち寄りました。のどが渇いた大師は、寺僧に水を頼みましたが、なかなか持ってきてくれませんでした。しばらくすると寺僧が手に水をいっぴいためて現れ、渇きを癒やすことができました。大師が聞くと、近くに井戸がなかったため、崖の下までくみにいったことが分かりました。大師は、この^{しゃくじょう}掘りが飲み水に大変苦勞していることを知り、錫杖で地面のある場所を示しました。そこを掘ると水が湧き出し、井戸の水はいくらくんでもなくなりませんでした。そして人々は、この井戸を「錫杖井戸」と呼ぶようになったそうです。

錫杖井戸は、今も絶えることなく水をたたえています。昔話の情景を思いながら訪れてみてはいかがでしょうか。

